

2012年3月 特別講演会の報告

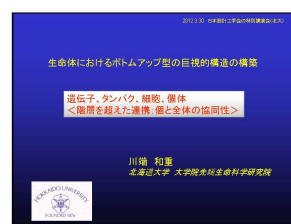
日時 2012年3月30日(金) 13:30~15:00
会場 北海道大学工学部 A102 (札幌市北区北13条西8丁目)
演題 「生命体におけるボトムアップ型の巨視的構造の構築」
講師 北海道大学 大学院先端生命科学研究院
先端生命科学研究院長 教授 川端 和重 先生

例年を上回るとも思われる寒波に見舞われた厳冬期も終焉を迎え、草木の芽生えも肌を感じる、弥生も残すところ一日となった3月30日、北海道大学大学院の理学系に所属される川端先生をお迎えして、細胞に関する幅広い内容のご講義を頂く機会を得ました。先生が精魂傾けて考究されておられるトピックスについて、非常に丁寧かつ分かり易くご解説頂きました。

資料やご講述は、機械系関連分野に身を置く我々の多くにとっては、普段、目や耳にすることのない、細胞、遺伝子、タンパクの階層、個と集団、協調性や排他性、更にはDNAや胚、再生医療やがん細胞などにまで亘り、発表用スライドは、興味深い動画や貴重なデータが潤沢に盛り込まれておりました。生物学、化学、医学、薬学から物理学までの極めて幅広いご見識に基づく、例えば、細胞の社会性や記憶効果など、門外漢にはその意外性に驚くばかりの内容で満たされたお話に、北海道支部の正会員の十余名が熱心に傾聴致しました。普段、「硬いもの」を対象とすることが多いことから、「柔らかいもの」に関する質疑も活発となり、予定の90分を超える充実した講演会となりました。

当日配布した特別講演会テキストは、若干余部があります(有償頒布)。他では入手困難と思われるので、ご希望の方は、お早めに支部事務局(幹事 平元 理峰(北海道工業大学)、Tel&Fax: 011-688-2287, E-mail: hiramoto@hit.ac.jp)までお問い合わせ下さい。(文責: 幹事 風間 俊治)

監修 早坂 洋史(支部長)、菅原 幸夫(幹事・HP委員)



資料の表紙



講演会のひとコマ